

第2章

上位関連計画での緑の位置づけ

第2章 上位関連計画での緑の位置づけ

本章では、上位関連計画における緑の位置づけを整理し、調布市のまちづくりの方向について明確にする。

2-1 調布市総合計画（平成25年3月）

（1）まちの将来像

みんなが笑顔でつながる・ぬくもりと輝きのまち調布

（2）まちづくりの基本目標

共に助け合い、安全・安心に暮らすために
次代を担う子どもたちを安心して育てるために
だれもが安心して、いきいきと暮らすために
身近な学びと交流のあるまちをつくるために
地域のつながりの中で、ぬくもりのある暮らしをおくるために
地域資源を生かした活力あるまちをつくるために
快適でより便利なまちをつくるために
環境にやさしく、自然と共生するために

このうち、「環境にやさしく、自然と共生するために」において、緑に係る施策等の位置づけがなされている。

（3）緑に係る施策等の位置づけ

水と緑による快適空間づくり

[施策の方向と基本的取組の体系]

人と自然との共生を目指すために、湧水、公園、崖線、里山などの水辺や緑地を保全し、連続性のある自然動植物の生息空間と緑豊かな美しい街並み・景観を形成する快適な空間づくりに取り組みます。

1) 水と緑の保全

身近な水辺と崖線樹林地・里山の一体的な保全・活用
緑の保全に向けた制度の活用
公園・緑地等の公有化への対応
市民による緑の保全の促進
公園施設長寿命化計画の推進

2) 水と緑の創出

- 公園・緑地等の整備
- 緑化活動へつなげる支援・制度の充実
- 水辺環境の整備促進

3) 深大寺・佐須地域環境資源保全・活用の推進

- 深大寺・佐須地域環境資源保全・活用の推進

《 緑化活動へつなげる支援・制度の充実 》

市内に緑を積極的に創出するため、花や緑のまちづくりを行う花いっぱい運動の推進や都市計画道路などにおける緑化の促進、新設した生垣に対する補助など、緑化につながる活動を支援します。

2-2 調布市都市計画マスタープラン

(平成 10 年 6 月策定, 平成 19 年 1 月一部改定, 平成 26 年 9 月改定)

(1) 将来都市像

住み続けたい 緑につつまれるまち 調布

調布市では、平成 10 年(1998)年に市民とともに議論を重ね、調布市都市計画マスタープランを策定し、平成 26 年 9 月の改定では、「住み続けたい緑につつまれるまち 調布」という将来都市像は継承しつつ、将来都市像の実現に向けて、市民、事業者及び行政(市)の連携のもと、住み続けたいまちづくりの取組をより一層進めていくことを目的としている。

(2) まちづくりの基本方針

- 快適に、安全に“動く”
- 水と緑に“憩う”
- 人々の心かよう“福祉”
- 住み良いまちを“まもる”
- うるおいとくつろぎをもって“住まう”
- みんなが誇れる“風景”
- にぎわいあふれる“魅力”

このうち、「水と緑に“憩う”」、「みんなが誇れる“風景”」において、緑に係る施策等の位置づけがなされている。

(3) 緑に係る施策等の位置づけ

1) 水と緑に“憩う”(生命の安らぐまちづくり)

①公園・緑地の保全、整備

- 地域に親しまれる身近な公園・広場等の整備
- 公園不足地域における未利用地や農地等の活用
- 地域制緑地*制度等の活用による崖線と一体となった緑の保全・活用策の検討
- 都市計画等の制度活用など恒久的な緑を確保するための方策の検討
- 大規模開発等において緑化の促進や建築物の屋上緑化等を事業者に要請するなどして緑を確保
- 調布基地跡地の留保地(国有地)を防災・スポーツレクリエーション機能を

*参考資料に語句説明あり。

有する公園としての活用

- 鉄道敷地を活用し中心市街地における緑地空間の整備を進める
- 緑地協定、地区計画など緑化のためのルールづくりや生垣助成制度などの支援による住宅地の緑化推進
- 公共施設や教育文化施設の壁面緑化などの充実について調査・検討し、市民の交流の場にふさわしい環境づくりを行う



図 2-1 公園・緑地等関連方針図

②水と緑のネットワークの形成

- 快適に安心して歩くことができる緑道・散策路のネットワークの形成
- 河川や街路樹のある幹線道路，緑道等を生かした水と緑のネットワークの形成

③教育，学習，コミュニティの充実

- 公園・緑地を市民団体等が主体となって維持・管理するための支援や手法の検討
- 優れた緑化や花づくりを行う市民の表彰やコンクール等の実施

④循環型都市の創造

- 落ち葉やせんてい枝を利用した堆肥化を推進

2) みんなが誇れる“風景”（地域の個性が輝くまちづくり）

①武蔵野の面影を残す自然環境を生かした景観形成

- 豊かな自然と武蔵野の面影が残る良好な景観の保全
- 国分寺崖線沿いの開発や建築計画を適切に誘導し，自然景観と周辺の住宅地との調和を図る

2-3 庭園のまち 調布 調布市緑の基本計画 改定版

(平成 11 年 11 月策定, 平成 23 年 3 月改定)

(1) 緑の将来像

庭園のまち 調布

当初計画では、庭園のように緑あふれる親しみあるまちを目指して、緑の将来像を「庭園のまち 調布」とし、改定計画でもその考えを引き継ぎ、これらの緑を生かした施策を展開して、将来像の実現を目指すこととしている。



図 2-2 将来像 庭園のまち 調布

(2) 計画の基本方針

- 調布市らしい多様な緑をまもり、活用する
- みんなに親しまれる緑をつくる・充実させる
- みんなで緑をそだて、広げる

(3) 緑の将来目標

目標 1：36.0%のみどり率を維持することを目指します

平成 32 年 みどり率対象地面積：775.11ha、みどり率 36.0%

目標 2：5.50 m²の市民一人あたり公園整備面積を確保することを目指します

平成 32 年 市民一人あたり面積：5.50 m²

目標 3：武蔵野の面影を感じさせる樹林地や農地を可能な限り次世代に継承します

◆樹林地の保全策の検討

◆農地の保全策の検討

目標 4：水と緑のネットワークの形成に努めます

◆緑化の効率的な推進

◆道路、河川等の環境整備

◆生物多様性*に配慮した緑化の推進

目標 5：快適でうるおいのある緑豊かな街並みづくりに努めます

◆公共施設の緑化

◆民有地の緑化

目標 6：市民と事業者と行政の協働*による緑のまちづくりを推進します

*参考資料に語句説明あり。

(4) 緑の基本計画の体系

調布市緑の基本計画の体系は、緑の保全・充実・育成を総合的に推進する計画である「全体計画」、緑の将来像を実現していくために、重点的に推進する計画をまとめた「重点計画」、地域別に方針をまとめた「地域別計画」により、構成されている。

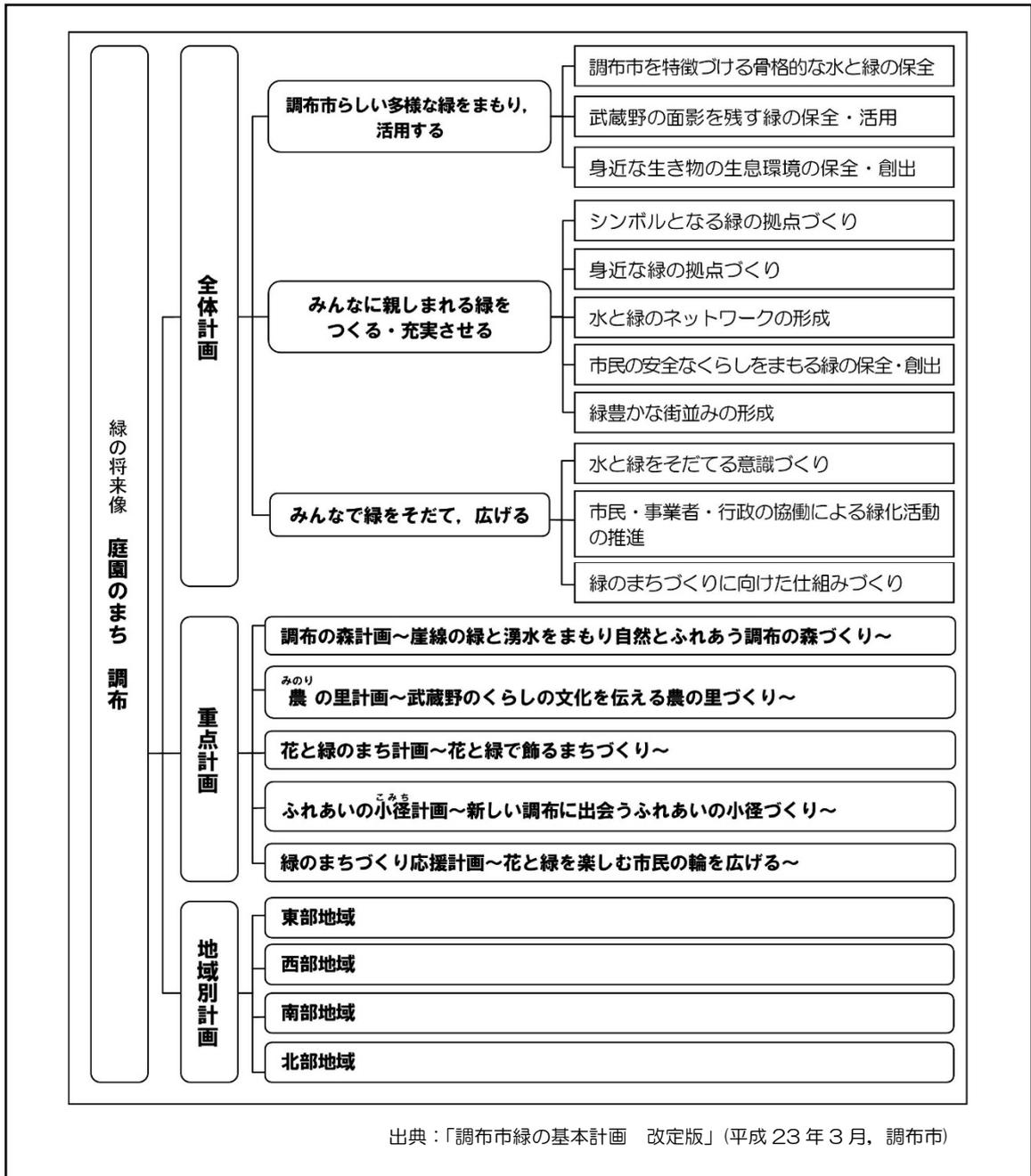


図 2-3 計画の体系

2-4 調布市景観計画（平成26年2月策定）

（1）景観まちづくりの基本目標

人と自然が織りなす ほっとする暮らしがみえるまち 調布

調布市では、都市に潤いと安らぎをもたらす、また日常の暮らしの中で“ほっと”するような時間や空間を創り出す貴重な資源を守り、育み、さらには生かしながら、市民がいつまでも暮らし続けていきたいと思えるまちを目指した景観づくりに取り組んでいくこととしている。

（2）景観まちづくりの基本方針

1. まちの骨格を際立たせる自然環境の景観価値の向上
2. 市民生活を支える基盤となる都市施設の魅力的な景観の形成
3. 地域の歴史文化を感じさせる景観の熟成
4. 地域コミュニティの存在を感じるほっとする暮らしの景観の育成
5. 市民のいきいきとした活動がまちの表情を豊かにする景観まちづくり

（3）景観形成重点地区

景観形成上、市の「顔」や「骨格」となる重要な地区や、地域住民の景観形成に対する取組意欲の高い地区等の、景観形成に対して積極的に取り組んでいく地区を景観形成重点地区としている。

指定された景観形成重点地区では、本計画に示す景観形成重点地区の景観形成の方針、景観形成基準を遵守することが求められ、以下の2地区が指定されている。

- 景観形成重点地区 1. 深大寺通り周辺景観形成重点地区
- 景観形成重点地区 2. 国分寺崖線景観形成重点地区

[景観形成重点地区 1. 深大寺通り周辺景観形成重点地区]

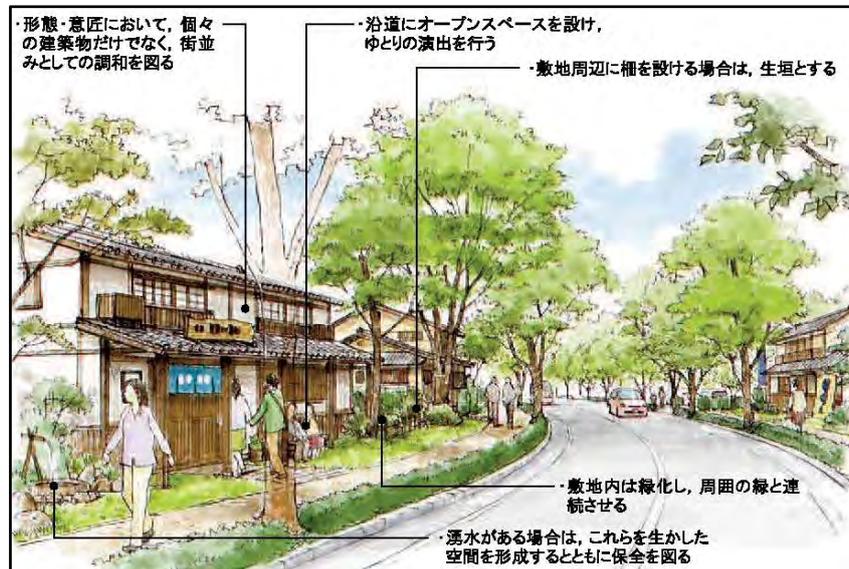
①景観形成目標

国分寺崖線の豊かな水と緑を保全・活用し、安らぎある武蔵野の原風景を再生します。また、“真壁造り”等の特徴的な建築形態に表れる深大寺の歴史・文化を継承しながら観光文化歴史拠点を形成するとともに、落ち着いた感じられる街並み景観を形成します。

②景観形成方針

- ◆水と緑の豊かな自然環境の保全
- ◆自然環境を生かした落ち着いた感じられる街並み景観の形成
- ◆地域の歴史・文化を継承した魅力ある街並み景観の形成
- ◆訪れる人にもゆとりと潤いを提供する景観の形成

[景観形成のイメージ]



出典：「調布市景観計画」（平成 26 年 2 月，調布市）

図 2-4 景観形成のイメージ（深大寺通り周辺景観形成重点地区）

【景観形成重点地区 2. 国分寺崖線景観形成重点地区】

①景観形成目標

国分寺崖線を軸に、広域的に連続する緑や崖線が生み出す湧水*等の自然環境、多くの寺社や史跡等の歴史的資源、さらには、水車等の文化的資源の保全を図りながら、これらの資源と調和した景観の形成を図ります。

②景観形成方針

- ◆連続した緑の景観の形成
- ◆優れた自然環境を生かした景観の形成
- ◆崖線の歴史的・文化的資源を生かした景観の形成
- ◆崖線の存在を生かした魅力ある地域の景観の形成

【景観形成のイメージ】



出典：「調布市景観計画」（平成 26 年 2 月，調布市）

図 2-5 景観形成のイメージ（国分寺崖線景観形成重点地区）

* 参考資料に語句説明あり。